



昭和33年当時の校舎



平田野中学校

〒513-0836 鈴鹿市国府町7781番地の1
☎ 78-0126 📠 78-4895 📧 hirata-jt@edu.city.suzuka.mie.jp

本校は、本田技研をはじめとする工場群と大型店のある地域にあります。昭和22年5月に国府小学校区を学区とする第一中学校、牧田小学校と庄野、汲川原、古庄野を学区とする第二中学校、飯野小学校区を学区とする第五中学校が開校しました。昭和23年5月、上記3校を統合して第二中学校として再発足しました。ただし、この際庄野・汲川原・古庄野は学区外となりました。



平田野中学校校歌

作詞 佐々木 信綱
作曲 弘田 龍太郎

一 ほがらかに 朝日輝よう鈴鹿山
高き希望を 保たん胸に
古き文化の あとをばふみて
日々に新たに 学ぶわれら

二 すがすがし 流れたえせぬ鈴鹿川
清きこころを みがかん常に
正義自由の 花折りがざし
祖国さかゆる 春にあわむ

三 よろこばし 我ら平田野中学に
よき師 よき友 心をあわせ
誠意勤勉 力をあわせ
いざや郷土の ほまれあげん



昭和24年4月に鈴鹿市立平田野中学校と校名を変更しました。その後、昭和30年ごろから近鉄平田町駅周辺を中心に、工場群と大型店や商店・飲食店の進出に伴う急激な都市化傾向があり、また、国府地区と庄野地区には宅地造成による人口の急増が見られ、昭和50年代後半には県下有数のマンモス校となりました。

昭和59年に創徳中学校が分離新設され、国府小学校区・明生小学校区・庄野小学校区の3小学校からなる現在の平田野中学校が誕生しました。これを機に超マンモス校時代の弊害を一掃して新しい校風づくりに取り組み、特に人間尊重の精神を基盤とした人権教育に重点を置き、あらゆる分野で望ましい集団づくりに取り組み、学校全体にかなりの落ち着きと秩序を取り戻しました。

現在の生徒数は418人で、各学年4学級と障害児学級2学級の最適規模の学校です。教職員一同、
○安心して生活でき、落ち着いて学習できる学校
○生徒が協力しあい自主的に活動できる学校
○お互いの個性を尊重しあえる学校
をめざして全力で取り組んでいます。



広報すずか 2005年10月5日号



「全国で13万人の不登校の子どもたちがいれば、わたしの事例は、その13万分の1のケースとしてとらえてください」自らが不登校経験を持つ伊田さんのインタビュー前の声。「福祉施設にはいろいろな団体から寄附が寄せられたいりますが、フリースクールは認知度も低く、現状を理解してもらえていないのが残念です」三重シュール・石山さんのイ

ンタビュー後の声。運営経費の大半が保護者負担、スタッフの人件費も十分でない現場の一方で、社会のニーズに応えたいとする意気込みがあるフリースクール。広報すずかの本旨は「行政と市民 市民と市民をつなぐ情報流通紙」です。人と人とのつながりのみならず、人と地域資源とのつながりも期待したいと思います。(宗)

表紙写真

天高く大空へ

撮影場所 鈴鹿川河川敷(庄野町)
撮影日 平成17年9月19日
撮影者 秘書広報課

